放送大学面接授業「武蔵野台地の自然史」

世田谷学習センター 2011.10.22,23
担当 萩谷 宏・倉田薫子
(東京都市大学・自然科学科)

日程：

10月22日(土)

10:00～12:00 講義(世田谷学習センター)

14:00～16:30 野外実習：等々力溪谷と多摩川河原の見学

*集合場所：東急大井町線等々力駅ホーム 14:00 (遅刻した場合は等々力溪谷で合流)

行動予定：

等々力溪谷の地層・植生観察。15:30頃・等々力駅に戻る → (電車) →

16:00 二子玉川駅から徒歩で兵庫島周辺。河原の礫の観察。16:30 解散。

10月23日(日)

10:00～17:00 野外実習(国分寺崖線沿いの観察)

*集合場所：都立野川公園 自然観察センター前 10:00

行き方：

調布駅または武蔵小金井駅から、京王バス「武91」系統(武93も?)に乗車、「野川公園一之橋」または「二枚橋」下車。徒歩3分ほど。(次ページ図参照)

調布駅北口・交番前12番乗り場9:20発/武蔵小金井駅・北口7番乗り場9:30発がおすすめ。

遅刻した場合は、園内の自然観察園にて合流のこと。

行動予定

野川公園自然観察園 → (徒歩) → 大沢緑地 → (バス) → 貫井神社・新次郎池 → (徒歩) → 国分寺駅 → (JR) → 西国分寺駅 → (徒歩) → 伝鎌倉街道・武蔵国分寺跡・真姿の池湧水群 → (徒歩) → 国分寺駅(解散)

*昼食は各自で弁当などを持参してください。

講義概要

世界的な大都市として日々変貌を続ける東京だが、注意して観察すれば、小さな湧き水や公園の林、坂道や小川といった見慣れた風景の中に、本来の自然の姿をいまでも垣間見ることができる。

武蔵野台地の自然のなりたちを、地形や地質、湧水の観察から読みとり、また湿地や雑木林の植物から、本来の武蔵野台地の動植物相、生態系を読みとり、わたしたちにとって真に住みよい環境とはどのようなものか、考える材料としたい。

用意するもの

動きやすい服装、歩きやすい靴。雨具、筆記用具。移動の公共交通費用(1000円程度+α) #保険

武蔵野台地のなりたち（地形・地質の発達史）

日本列島の特質

- ・プレートの境界に位置する …収束境界 沈み込み帯の火山活動、地震。
- ・地形的な変化が大きい 斜面崩壊や、集中豪雨などの局地的気象災害、豪雪。

関東平野の位置づけ

- ・周囲の山地 …第四紀初期から隆起。砂礫の供給。関東平野の相対的沈降
- ・火山噴出物の供給。箱根火山、富士火山などの活動 …関東ローム層の形成
- ・氷期-間氷期の海面変動による段丘形成。…東京周辺の地形の基本
- ・プレート境界に近い …周期的な地震、隆起による変動地形

武蔵野台地と低地の成り立ち

- ・段丘としての武蔵野台地：海成段丘と多摩川の河成段丘 …高いところほど古い
- ・段丘の境界 …崖線の形成、湧水の存在
- ・湧水が段丘を刻む …台地内河川と谷の発達：古いほど谷が深く、複雑に入りこんでいる。
- ・後氷期の海面上昇・縄文海進 低地と軟弱地盤のなりたち
- ・土地の特質・地盤災害の可能性
- ・人々の暮らしとの関係。…崖線沿いには遺跡が集中。水利用の歴史。植生への影響。

文献案内（地学）

東京の自然史（第二版） 貝塚爽平著 紀伊國屋書店 1976年

東京の地形の成り立ちについての古典。東京の台地や低地の形成について、第四紀の気候変動との関係をふまえて豊富な具体例で紹介されている。貝塚爽平氏の著書では、他に「発達史地形学」（1998）などがあり、いずれも読みやすい。

川の地図辞典 江戸・東京/23区編 菅原健二著 之潮 2007年

都市化が進み、東京23区では本来の地形や、かつて存在した湧水や小河川、水路などがわかりにくくなっているが、本書では明治初期以降の地形図を豊富に用いて、23区内各地の本来の水系や地形の様子を示し、現在と比較しながら土地の歴史を読み取ることができる。

地下水の世界 茅根勇 NHKブックス 1992年

地下の構造は地下水の流れを支配する。武蔵野台地の地下を流れる地下水の動きや、台地内の湧水、小河川の発達、さらには活断層による地下水系への影響など、水をキーワードにして土地の成り立ちをどう読み取るか、基礎的な事柄を学ぶことができる。

日本の地形(1)総説 米倉伸之他編 東京大学出版会 2001年

「日本の地形」のシリーズは、7巻にわたる大著であるが、百科辞典的に用いるだけでなく、特に第1巻の総説部分は、教科書としても使いやすい。変動帯の中でも日本は世界に例がないほど詳しく調べられており、日本の地形学・第四紀学の成果の集大成といえる。

一般地質学Ⅰ A. ホームズ著 上田誠也他訳 東京大学出版会 1983年

ホームズの「一般地質学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は、古典の訳書でやや古くなったが、地球規模での地形の成り立ちを理解するにはよい教科書である。英語の原著では最新の研究成果を盛り込んだ改訂版が出ているが、上記の版でも豊富な写真と解説でわかりやすく読みやすい。

地図で見る東京の変遷 財団法人日本地図センター 1996年

現在絶版。他に、多摩・横浜のバージョンがある。